

【機械設備工事】

No	分類	関連項目	質問内容	回答
1	柵	M-05 衛生設備外構 詳細図1	静岡市排水設備工事技術指針では屋外排水の汚水・雑排水の合流には300φ以上の防臭柵が規定されていますが、図面上では小口径トラップ柵との記載されており指針と異なっております。静岡市指針を優先して汚水・雑排水合流部には、防臭柵（ポリプロピレン柵+防臭弁）を見込むものとして宜しいでしょうか。	積算上、設計書のとおりとし、受注者と協議する。
2	柵	機械設備工事 屋外排水設備 M-05	静岡市排水設備工事技術指針では屋外排水の汚水・雑排水の合流には300φ以上の防臭柵が規定されていますが、M-05図では小口径トラップ柵（①、③）との記載されており指針と異なっております。汚水・雑排水合流部には防臭柵（ポリプロピレン柵+防臭弁）を見込まなくてよろしいでしょうか。	
3	配管	M-01 特記仕様書 M-04, 05, 06 平面・外構	屋外給水管材が特記仕様書ではVDと記載されていますが、設計書ではHIVP・VD2種類記載があります。 平面図ではHIVP・VDの使い分けが判断できませんので、それぞれの仕様場所を御指示ください。	新設配管はVDとし、M-05の本部棟の給水管の切り回しはHIVPとする。
4	配管	衛生設備給水管材質 M-05	M-05において、改修・既設給水管HIVPとありますが、特記仕様書等により、材質はVDでよろしいでしょうか。	
5	配管	機械設備工事 屋外給水設備 M-02、04、05、06	屋外給水管材がM-02図屋外給水設備ではVD（40A以下）と記載されていますが、M-04、05、06図ではVP・VD・記載なしとなっています。M-02図を優先してVDと考えてよろしいでしょうか。	
6	配管	M-01 特記仕様書 M-04, 05, 06 平面・外構	屋外給水管材が特記仕様書ではVDと記載されていますが、平面図ではHIVP・VD・記載無い図面があります。特記仕様書を優先してVDとして見積もって宜しいでしょうか。	

7	配管	衛生設備工事	M-04 特記にて改修給水管は VD とすると記載がありますが、M-05 特記にて HIVP と記載されています。ご指示下さい。(M-04・05 図)	
8	配管	M-04～06 外構図類	各図面特記に「特記なき建築構造物、仕上げ物等の撤去(復旧共)は本工事とする」との記載がありますが、配管ルートに関わる仕上げ物の記載が図面・予算書共ありません。設備工事に関連する既設物撤去復旧はなしと考えて宜しいでしょうか。	撤去は本工事に含み、舗装復旧は積算上不要とする。
9	配管	M-04～06 外構図類	各図面特記に「特記なき建築構造物、仕上げ物等の撤去(復旧共)は本工事とする」との記載がありますが、配管ルートに関わる仕上げ物の記載が図面・予算書共ありません。設備工事としては別途と考えて宜しいでしょうか。	
10	消火設備	M-12 給水・消火設備 R 階平面図 設計書 P151	ソーラーパネル付移動式粉末消火設備の数量が、平面図と設計書で食い違いが生じております。 平面図：(R 階)8 個、 設計書：ソーラーパネル数量 9 個 平面図を優先して宜しいか。	設計書を正とする。
11	消火設備	機械設備工事 消火設備 M-12	ソーラーパネル付移動式粉末消火設備の数量は M-12 図 R 階平面図記載の 8 ヶ所と M-11 図 4 階平面図の SX3-SY2 スロープ部の 1 ヶ所の合計 9 ヶ所と考えてよろしいでしょうか。	R 階にソーラーパネル付移動式粉末消火器が 9 箇所あるものとして積算のこと。ただし、基礎は 8 箇所とする。
12	消火設備	M-08 給水・消火設備 1 階平面図 設計書 P151	消火器併設型の第三種移動式粉末消火設備の数量が平面図と設計書で食い違いが生じております。 平面図(1～R 階)で移動式粉末(消火器併設型)43 ヶ、移動式粉末(消火器無)1 ヶ(1 階 SX3-SY2 消火器無)であるが、設計書では移動式粉末(消火器併設型)44 ヶとなっております。 平面図を優先して宜しいか。	移動式粉末消火器は全て消火器併設として積算のこと。 また、設計書を正として 44 箇所により積算のこと。

13	消火設備	機械設備工事 消火設備 M-08	M-08 図 1 階 SX3-SY2 の第三種移動式粉末消火設備のみ消火器併設型になっていません。そのままよろしいでしょうか。	移動式粉末消火器は全て消火器併設として積算のこと。
----	------	------------------------	---	---------------------------